

第12回 さいたま子ども短歌賞

応募期間 | 令和6年7月11日(木)～令和6年9月3日(火)まで

さいたま2024

五五七

作歌することに
意味がある

主協後

催賛援

さいたま市教育委員会
埼玉県歌人会
埼玉県教育委員会
芸術文化祭実行委員会
埼玉県新聞社

スマートフォンから応募できるはず ▶



第 12 回さいたま子ども短歌賞 応募要項

短歌を通して児童生徒の豊かな感受性と国語力をはぐくみ

伝統的な言語文化の継承を図るために

さいたま子ども短歌賞を実施し作品を募集します

短歌作品を応募票に記入してお送りください

★ 対象

全国の小・中学生

★ 応募期間

令和6年7月11日(木)から
令和6年9月3日(火)まで

★ 応募のきまり

- ・所定の応募票を使用してください。
※応募票のコピーや、市ホームページからダウンロードしたものの使用は可とします。
- ・1人3首まで応募できますが、入賞は1人1首とします。
- ・応募作品は未発表の自作短歌に限ります。ただし、学校の授業で創作した作品は可とします。
- ・他の短歌コンクールとの二重投稿や、既に発表されている短歌・歌詞等に著しく類似したものは、選考の対象になりません。
- ・応募のきまりに反する場合は、入賞を取り消すことがあります。

★ 選考委員

沖 ななも (歌人)
佐伯 裕子 (歌人)
外塚 喬 (歌人)

★ 賞

優秀賞 20 首

賞状、図書カード (3,000 円分)、
作品集を贈呈します。

入 選 80 首

賞状、作品集を贈呈します。

☀️ 応募先・お問合せ先

さいたま市教育委員会生涯学習振興課
〒330-9588 さいたま市浦和区常盤 6-4-4

電 話 048-829-1705 FAX 048-829-1989
E-mail shogai-gakushu-shinko@city.saitama.lg.jp

さいたま市教育委員会 「自分発見!」チャレンジupさいたま」スタンプ事業です。

★ 発表

入賞者は、委員による選考後 11 月下旬頃に決定します。

入賞者本人へ学校を通じてお知らせするとともに、在籍校の学校長宛てに通知することで発表とします。

★ 表彰式

表彰式を次のとおり開催します。

期 日 令和7年1月19日(日)

会 場 さいたま市青少年宇宙科学館
青少年ホール

★ 作品集

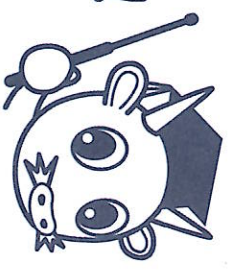
入賞作品 100 首を掲載した作品集を作成します。

作品集には、作品とともに作者名、学校名、学年を掲載します。

★ 作品の取扱い

- ・応募作品の著作権は、さいたま市に帰属します。
- ・応募作品の原稿(応募票)は返却しません。
- ・入賞作品は、さいたま市ホームページ、本市刊行物等で作者名、学校名、学年と併せて掲載します。
- ・応募に際して取得した個人情報、さいたま市教育委員会が実施する短歌に係る3つの事業以外の目的では利用しません。

*「夢と言葉をつむぐ短歌 未来へのかけはし事業
～Saitama "Tanka" Promotion Project(STPP)～」
さいたま子ども短歌賞、さいたま短歌フオーラム、現代短歌新人賞(詳細は市ホームページをご覧ください)



3つのステップで短歌を詠んでみよう！

？短歌ってどんなもの？

心を動かされる景色や出来事などを、五・七・五・七・七の三十一文字で言い表した詩です。

【例：声に出して読んでみよう】

「寒いね」と話しかければ 「寒いね」と 答える人の いるあたたかさ (儀 万智)

STEP 1 テーマを決めよう

どんなことを短歌にしたいか考えてみよう。
自分の好きなことや、楽しかったこと、感動したことなど、自由に選んでみてね。

テーマの例

- ・学校のできごと
- ・家族、友達
- ・好きなスポーツ
- ・行ってみた場所
- ・夏休みの思い出
- ・将来の夢
- ・動物、植物
- ・景色、風景

STEP 2 つながりのある言葉を書き出そう

決めたテーマから思いつく言葉を、たくさん書いてみよう。
このときは、文字の数は気にしないで、頭にうかんだ言葉だけをたくさん書こう。

STEP 3 五・七・五・七・七のリズムにあわせよう

STEP2 で集めた言葉を組み合わせて、「五・七・五・七・七」に当てはめてみよう。
でき上がったら、声に出して読んでみるとういよ。

※字余り (文字数が多いこと) ・字足らず (文字数が少ないこと) でも大丈夫！
伝えたいことが表現できるように、いろいろな言葉を試してみてね。

上級者のあなたへ いろいろな表現のしかたにチャレンジしてみよう！

- ① 比喩 (たとえる) **例**: 「雪」の比喩⇒「白い綿のような雪」
- ② 体言止め (最後が名詞で終わる) **例**: 「空が青い」の体言止め⇒「青い空」
- ③ 対句 (同じ構成の語を並べる) **例**: おじいさんは山へ芝刈りに、おばあさんは川へ洗濯に
- ④ 擬音語・擬態語 (音や様子を表す) **例**: わくわく、どんより、ガタン、もりもり
- ⑤ 漢字とひらがなの使い分け (あえてひらがなを使うと、やわらかい印象になるよ)